

令和6年度

事業報告書

旭川福祉園

就労継続支援B型事業

第二旭川福祉園

生活介護事業

グループホーム旭川旭親会

グループホーム花咲

グループホーム東旭川

グループホーム北野

障害者支援センター

きたのまち

1. 法人本部

令和6年度の理事長及び法人本部の職務執行状況として、理事会・評議員会の開催、監事監査、外部監査、補助金・助成金・寄付金事業を行いました。以下はその詳細になります。

○理事会

・令和6年6月7日

1 決議事項

- 第1号議案 令和5年度 事業報告書の承認
- 第2号議案 令和5年度 決算関係計算書類等の承認
- 第3号議案 組織改革について
- 第4号議案 令和6年度定時評議員会の開催

2 報告事項

- (1) 理事長の職務執行状況の報告(令和5年4月～令和6年3月末まで)
- (2) 監事監査、外部監査
- (3) 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務
- (4) その他の報告

・令和6年8月19日

1 決議事項

- 第1号議案 令和6年度農山漁村振興交付金について
- 第2号議案 東旭川加工場設計監理業者について
- 第3号議案 東旭川加工場機器購入業者について
- 第4号議案 東旭川加工場 工事業者条件付き一般競争入札公告
- 第5号議案 給与規程改正(案)

・令和6年9月20日

1 決議事項

- 第1号議案 東旭川加工場新築工事業者入札の報告
- 第2号議案 東旭川加工場新築工事業者契約の承認
- 第3号議案 北洋銀行の証書貸付利用について

・令和7年3月6日

1 決議事項

- 第1号議案 令和6年度 補正予算案
- 第2号議案 令和7年度 事業計画案
- 第3号議案 令和7年度 予算案
- 第4号議案 規則・規程改正案
- 第5号議案 令和6年度農山漁村振興交付金事業に係る
東旭川食品加工場の完成について
- 第6号議案 評議員会の開催

2 報告事項

- (1) 理事長の職務執行状況の報告（令和6年4月～令和7年1月末）
- (2) 監事監査、外部監査
- (3) その他報告事項

○評議員会

- ・令和6年6月22日

1 決議事項

- 第1号議案 令和5年度 決算関係計算書類等の承認

2 報告事項

- (1) 令和5年度 事業報告書
- (2) 組織改革について
- (3) 監事監査、外部監査
- (4) 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務
- (5) その他の報告

- ・令和7年3月22日

1 報告事項

- (1) 理事長の職務執行状況の報告（令和6年4月～令和7年1月末）
- (2) 監事監査、外部監査
- (3) 令和6年度農山漁村振興交付金事業に係る
東旭川食品加工場の完成について
- (4) その他報告事項

○監事監査 ・佐藤監事、加藤監事

- ・令和6年5月31日（令和5年度分監査）
- ・令和7年2月27日（令和6年4月～令和7年1月分監査）

○外部監査 ・税理士法人カムイ会計

- ・令和6年5月24日（令和5年度分監査）
- ・令和7年2月26日（令和6年4月～令和7年1月分監査）

○補助金・助成金・寄付金事業

- ・旭川市社会福祉事業振興補助金
農作業用耕運機購入に係る補助金
補助金額：149,479円

- ・令和6年度農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）農山漁村発イノベーション推進事業（農福連携型のうち農福連携支援事業）及び農山漁村発イノベーション整備事業（農福連携型）
食品加工場の整備、農福連携推進事業
交付金額：27,989,000円

寄付金

- ・令和6年度は主に令和6年9月1日に開催した福祉園まつりにて寄付を頂いております。
- ・令和4年1月より、「共に支え合い共に未来を創り出す」という法人理念のもと、障害者の就労環境・施設及び活動の充実を図り、ご利用者様と共に、更なる成長と発展を目指して、1口3,000円からの寄付を募集しております。

2. 運営状況

旭川旭親会の行う各事業は、公正な運営を原則として、自立支援給付費により厳正且つ適正な運営にあたりました。施設の利用状況は、旭川福祉園が利用定員40名・第二旭川福祉園が利用定員40名で利用定員は満たしている状況であり、安定的な運営となっております

3. 旭川福祉園 就労継続支援B型事業

令和6年度作業収入は52,375,195円となり、前年度の46,894,533円から比べ11.68%の増収になりました。工賃配分につきましては26,100,143円で、一人当たりの月額平均工賃は前年度の40,396円より11.7%増の45,125円（令和5年度全道平均/26,675円）となり、令和7年度より報酬単価8段階のうち1番良い報酬となります。作業収入、利用者工賃ともに予算額を達成しました。

施設内での自主生産作業や委託作業、農作業及び施設外就労等を通して利用者の自立と社会経済活動への参加を促進し、通所による福祉的就労や生産活動の機会を提供してきました。3月末現在56名の利用契約となっております。

(1) オフセット印刷・シルク印刷

オフセット印刷においては、年賀はがきの価格改定があり注文件数は減少しましたが、全体の売上は昨年度より増収となりました。また、障害者優先調達推進法による国や行政機関等からの受注は継続しております。

シルク印刷においては、昨年度より13%増の売上げとなっております。営業による継続した直接取引企業との関係構築、下請け作業を含めた新規取引企業も増加しました。

旭川印刷製本組合の加入を継続し横の繋がりを大切にしております。

(2) 農耕

花咲のハウスでは、花苗・野菜苗の育成及び販売、東旭川の農地にてじゃがいも、サツマイモ、アスパラ等の野菜を作付けし、ビニールハウス3棟ではトマトジュース用のトマトの栽培（赤玉・黄玉）、トマト収穫後のハウスでは、寒締めほうれん草の栽培を行いました。寒締めほうれん草はJA東旭川を通じ道北アークスに出荷しました。ビニールハウス（小）では、赤肉メロンの試験栽培を行い収穫物は収穫祭等のイベントで販売を行いました。

令和7年度においては、従来のトマトジュース用のトマト栽培（赤玉・黄玉）に加え緑玉のトマト育成を行います。また、種無しピーマン、ハラペーニョ、そら豆等の育成を行い福祉園ブランドの野菜を増やして行きたいと思っております。

(3) 施設外就労

北海道療育園・近文リサイクルプラザ・おびった・き花の杜工場・ひだの塗装・旭廃社・カーメディア伊藤で施設外就労を行いました。農福連携では、フロントライン・Next Peak・JA上川中央で施設外就労を行い工賃向上に努めました。今後においても、施設外就労先を開拓して作業選択の幅を広げ、利用者の希望や特性に応じられるように支援します。

(4) 委託作業

贈答品加工・菓子箱折り・DMの封入・シール貼り等様々な作業種を用意し、利用者の特性に応じた就労の機会や生産活動への参加の場面を提供しました。

(5) 販売・飲食事業

お米(ななつぼし)の販売、旭川市のふるさと納税の返礼品登録、定期購入(サブスク)を行い顧客獲得に努めました。また、原材料にこだわったオリジナル味噌を年に1度販売しました。東旭川ファクトリーでは、農家や行政などと連携し野菜の一次加工や新商品(干し芋)の商品開発を行います。

(6) 就職科

令和6年度の一般企業への就職者は7名となっております。令和7年度につきましても、利用者の希望や特性に合わせた企業開拓を行うとともに、一般就労に向けた就業支援の実施と就職後の定着支援を一貫して行ってまいります。また、各関係機関との連携体制を密に組み新規利用者の獲得に努めます。

4. 第二旭川福祉園 生活介護事業

令和6年度作業収入は、15,796,467円となり、予算の15,550,000円を上回りました。工賃配分は5,898,110円で、一人当たりの平均工賃額は平均10,222円となり、目標の10,200円を達成することができました。

(1) 作業支援

菓子箱折りやシール貼りなどの委託作業やトマトジュース、きのこ(シイタケ・キクラゲ)、野菜の栽培などの生産活動のほか、喫茶「ぼぶら」での販売・配食事業を行いました。中でも生産活動が売上増となり、前年を上回ることができました。喫茶「ぼぶら」の配食事業は、規格外の野菜や間引いたシイタケについては、配食での総菜に使いフードロス防止や経費削減に取り組んでおりますが、昨今の食材料費等の高騰への対応が課題となっております。

農産物や農産加工品については、アークス永山店や旭川市ほか出先機関、ECサイト、ふるさと納税をはじめ、地域でのイベントでの出品などで販売先しております。継続してホームページやSNSなどのアピールすることで、徐々に認知度も上がっております。

今後も新規の委託作業先の開拓、農産食品の販路拡大に取り組むと共に、ご利用者様の体力や障害特性に合わせながら、障害が重くてもできる作業に取り組んで頂き、体力の向上や達成感を感じてもらえるように支援してまいります。

(2) 生活支援

生活介護は、18歳から77歳までの幅広い年齢層の方が利用されております。高齢化・重度化から看護師による健康管理、機能訓練など、障害特性に応じた支

援を提供し、ご家庭や医療機関等多機関との連携を図っております。

行事や研修旅行、レクレーションなどの活動も増え、生きがいづくり、QOLの向上に繋がっております。

生活介護では、利用者一人ひとりの障害特性に応じた専門性を持った支援を心掛け、特に強度行動障害を併せ持つ自閉スペクトラム症の利用者に対しては、「発達障害者支援道北地域センターきたのまち」と協力し、視覚的構造化や絵カードによる意思表示の支援を行っております。専門的な研修参加のほか、令和6年度は京都からアドバイザーの方に来所いただき、職員にスーパービジョンを行うことで、自閉症支援のスキル向上に努めております。

5. グループホーム旭川旭親会 指定共同生活援助(介護サービス包括型)事業

グループホームの利用者は20代半ばから60代前半と幅広い年齢構成となっており、グループホーム東旭川(男性10名)、グループホーム花咲(女性4名)、グループホーム北野(女性6名/空床型短期入所指定あり)と合わせて定員20名の利用者が地域生活を行っております。今後も地域における暮らしの拠点づくりを進めてまいります。

行事等に関しては、感染症対策などをしながら、敷地内でのバーベキューを行うなど、少しでも利用者が喜んで生活を送って頂けるように出来る限り生活の質の向上を図ってまいりました。外食行事では、利用者一人一人が自分の食べたいものを注文し思い思いの食事を楽しむこともできています。地域交流の一環として、地域のお祭りの見学、周辺の住民の方々や地元の中学生との花壇整備、神社清掃などにも参加させていただき、地域の方々との交流を図り、障害を持つ方々を知ってもらう活動を継続していきます。

6. その他事業

短期入所事業

保護者の方の入院など家庭の事情によりショートステイを利用されております。令和6年度は、ほぼ毎月利用があり、ご家族の入院や急な用事、必要に応じて、レスパイトケアにも対応しております。

日中一時支援事業

在宅の障がい者や高等養護学校生が当法人を利用する際の前提実習や地域で有意義に生活できるように、旭川市と近郊の市町村から希望に応じ、ほぼ毎月受け入れております。

厨房給食業務

令和2年12月1日から株式会社エムズフードと契約を結び、厨房給食業務を委託しています。感染症対策や、アレルギー等の個別食対応、クリスマスや開園記念日等のイベント食対応もしております。

7. 諸行事・諸活動

(1) 研修旅行

本年度は、感染症対策を徹底し、事故やケガもなく無事に行程を終了できました。

■2泊3日（6/12～14 岐阜・愛知方面）参加利用者17名

■1泊2日（5/30～31 十勝・帯広方面）参加利用者30名

■日帰り（7/24、7/31 名寄方面）参加利用者42名

(2) 小行事

本年度はB型が9月30日～10月4日の間で40名の利用者がふじくらますも果樹園にて、集団行動のルールや社会性を身につけることを目的としてリングオ狩りに行きました。生活介護では、南果樹園にて体験や交流を目的として、9月17日～25日の5日間で39名の利用者がブドウ狩りに参加しました。

8. 健康管理

引き続き感染症拡大防止対策を講じ、嘱託医による春・秋の年2回の健康診断を実施いたしました。肥満対策や体力増加にも努めました。また、必要に応じて家庭での協力を仰いでおります。

9. 苦情解決

利用者の苦情に関しましては、要望等を拝聴し、十分な注意と配慮を怠りませんでした。その結果、支援員の普段からの適切な係わりにより、苦情には繋がりませんでした。

10. 運営費

運営費につきましては、自立支援給付費及び補助金により、厳正かつ適切に運営いたしました。

1 1. 今後の動向について

利用者の一般就労のニーズは年々増加しています。本年10月より施行される「就労選択支援」の事業指定を検討し、専門的なアセスメントを提供し利用者中心の就労選択の支援実施を目指し、新規利用者の契約につなげていきたいと
思います。また、就労移行支援事業所の機能を併せ持つ「就職科」においては、
今まで以上に各関係機関との連携体制を密に組んで行きます。

東旭川 Factory においては、令和7年度よりトマトジュースの加工を自前で行うと共に、休日のグループホームの食事の内製化を図ります。また、農業者や行政、地域住民等と連携し、野菜の一次加工等の新規作業の受注、干し芋やジャム等の旭川旭親会オリジナル商品の研究開発および生産を行い利用者の職域拡大に努めてまいります。

法人開設以来、生産者として農作業を利用者と共に行い、トマトジュースや米粉入りラーメン、米粉入りパスタのなど農産物の6次産業化を行ってきました。今後においては、旭川旭親会ブランドの野菜やお米、加工品などを使用した軽食を旭川市内で提供できるカフェ運営や、商品を販売できるアンテナショップを札幌市や道内観光地に広げて行ければと思っております。

1 2. 令和7年3月末の職員状況

・旭川福祉園	就労継続支援B型	19名
・第二旭川福祉園	生活介護	21名
・グループホーム		21名
・きたのまち		16名
合 計		77名
・嘱託医（非常勤）	2名	

令和6年度 北海道発達障害者支援道北地域センターきたのまち 実績報告

1. 相談支援内容(発達支援)

(1)発達障害児(者)年齢層	内訳	実支援人数
0～3歳(幼児期前期)		0
4～6歳(幼児期後期)		1
7～12歳(小学生)		6
13～15歳(中学生)		6
16～18歳		7
19～39歳		49
40歳以上		18
不明		17
合計		104

(2)障害種別 (医師による診断名でカウント)	内訳	実支援人数
自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害		37
注意欠陥多動性障害(AD/HD)		11
学習障害(LD)		0
その他(発達性言語障害・協調運動障害等)		24
不明(未診断含む)		36
合計		108

(3)相談依頼者	内訳	実支援人数
本人、家族		77
関係機関		27
合計		104

(4)相談方法	内訳	延支援件数
来所		117
訪問		51
電話		200
その他(FAX・メール等)		52
合計		420

(5)相談内容 (重複可)	内訳	延支援件数
相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい		20
現在の生活に関することや、家庭で家族ができることを知りたい		52
利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)		4
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい		19
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい		17
進路や将来の生活に関する相談をしたい		11
対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)		2
今後の就労について相談したい		9
現在勤めている職場に関する相談をしたい		18
その他		0

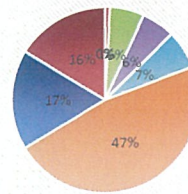
(6)医学的診断、心理的判定	内訳	実診断(判定)人数
センターに勤務する医師が診断		0
センター職員が心理的判定		0

(7)夜間等の緊急時保護、行動障害による一時保護	内訳	実支援人数
行動障害による場合 (実支援人数)		0
(延支援件数)		0
行動障害以外の場合 (実支援人数)		0
(延支援件数)		0

(8)連携先の機関 (重複可)	内訳	延支援件数
保育所・幼稚園		0
児童相談所		1
知的障害更生相談所		0
福祉事務所		1
障害児(者)地域療育等支援事業実施施設		0
保健所・保健センター		0
児童発達支援センター		0
障害児入所施設		0
精神保健福祉センター		0
医療機関		5
教育委員会		0
学校		0
特別支援学校		0
専門学校・大学		3
相談支援事業所		7
就労移行支援事業所		1
就労継続事業所		0
生活介護事業所		0
その他のサービス事業所		1
公共職業安定所		0
地域障害者職業センター		0
障害者就業・生活支援センター		4
地域若者サポートセンター		0
上記以外の都道府県行政機関		0
上記以外の市町村行政機関		0
企業等		0
その他		4

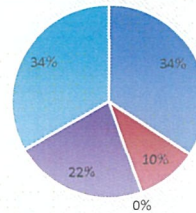
(9)関係機関との連携内容	調整会議:(8)の機関と共に実施(表1-1.-(4)の件数と一致させること)	10
---------------	--	----

(1)発達障害児(者)年齢層



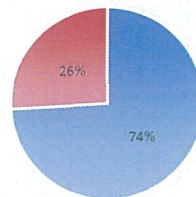
- 0～3歳(幼児期前期)
- 4～6歳(幼児期後期)
- 7～12歳(小学生)
- 13～15歳(中学生)
- 16～18歳
- 19～39歳
- 40歳以上

(2)障害種別
(医師による診断名でカウント)



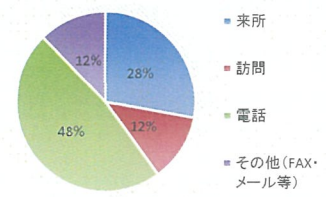
- 自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害
- 注意欠陥多動性障害(AD/HD)
- 学習障害(LD)
- その他(発達性言語障害・協調運動障害等)
- 不明(未診断含む)

(3)相談依頼者



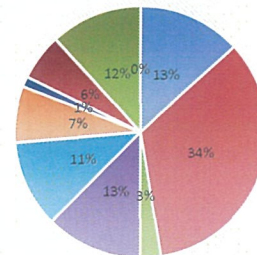
- 本人、家族
- 関係機関

(4)相談方法



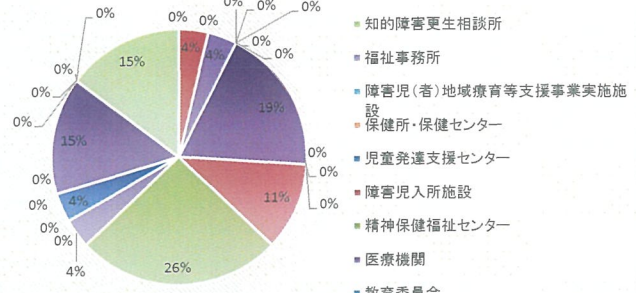
- 来所
- 訪問
- 電話
- その他(FAX・メール等)

(5)相談内容
(重複可)



- 相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい
- 現在の生活に関することや、家庭で家族ができることを知りたい
- 利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)
- 診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい
- 現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい
- 進路や将来の生活に関する相談をしたい
- 対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)
- 今後の就労について相談したい
- 現在勤めている職場に関する相談をしたい
- その他

(8)連携先の機関
(重複可)

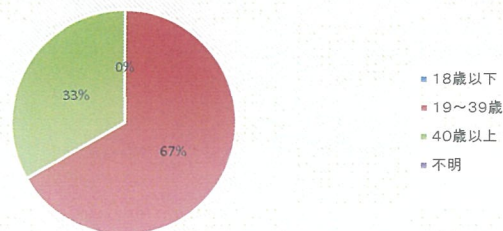


- 保育所・幼稚園
- 児童相談所
- 知的障害更生相談所
- 福祉事務所
- 障害児(者)地域療育等支援事業実施施設
- 保健所・保健センター
- 児童発達支援センター
- 障害児入所施設
- 精神保健福祉センター
- 医療機関
- 教育委員会

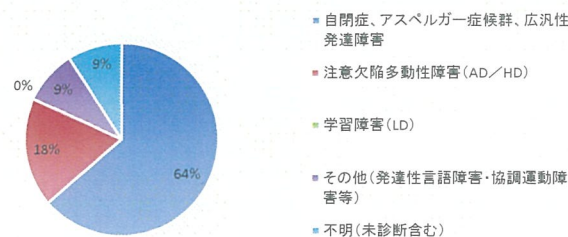
2. 相談支援内容(就労支援)

(1)発達障害児(者)年齢層	内訳	実支援人数
	18歳以下	0
	19～39歳	6
	40歳以上	3
	不明	0
	合計	9
(2)障害種別 (医師による診断名でカウント)	内訳	実支援人数
	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害	7
	注意欠陥多動性障害(AD/HD)	2
	学習障害(LD)	0
	その他(発達性言語障害・協調運動障害等)	1
	不明(未診断含む)	1
	合計	11
(3)相談依頼者	内訳	実支援人数
	本人、家族	8
	関係機関	1
	合計	9
(4)相談方法	内訳	延支援件数
	来所	4
	訪問	6
	電話	0
	その他(FAX・メール等)	3
	合計	13
(5)相談内容 (重複可)	内訳	延支援件数
	相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	0
	現在の生活に関することや、家庭で家族ができることを知りたい	1
	利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)	0
	診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	0
	現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	1
	進路や将来の生活に関する相談をしたい	0
	対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)	0
	今後の就労について相談したい	2
	現在勤めている職場に関する相談をしたい	5
	その他	0
(6)連携先の機関 (重複可)	内訳	延支援件数
	児童相談所	0
	知的障害更生相談所	0
	福祉事務所	0
	障害児(者)地域療育等支援事業実施施設	0
	保健所・保健センター	0
	児童発達支援センター	0
	障害児入所施設	0
	精神保健福祉センター	0
	医療機関	0
	教育委員会	0
	学校	3
	特別支援学校	0
	専門学校・大学	0
	相談支援事業所	0
	就労移行支援事業所	0
	就労継続事業所	0
	生活介護事業所	0
	その他のサービス事業所	0
	公共職業安定所	0
	地域障害者職業センター	0
	障害者就業・生活支援センター	0
	地域若者サポートセンター	0
	上記以外の都道府県行政機関	0
	上記以外の市町村行政機関	0
	企業等	0
	その他	0
(7)関係機関との連携内容 調整会議:(8)の機関と共に実施(表1-2.-(2)の件数と一致させること)		0
(8)機関コンサルテーション	実機関数	23
	延件数	40
(9)企業等に対する啓発	訪問による啓発	0
	訪問以外の方法による啓発	0

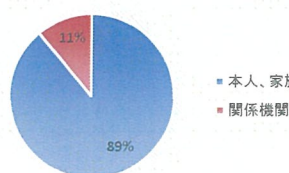
(1)発達障害児(者)年齢層



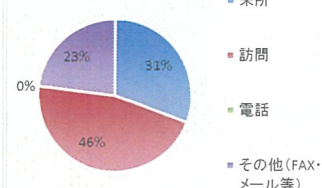
(2)障害種別
(医師による診断名でカウント)



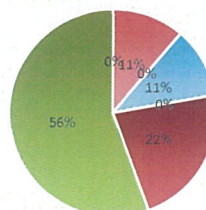
(3)相談依頼者



(4)相談方法



(5)相談内容
(重複可)



(6)連携先の機関
(重複可)



- 相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい
- 現在の生活に関することや、家庭で家族ができることを知りたい
- 利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)
- 診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい
- 現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい
- 進路や将来の生活に関する相談をしたい
- 対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)
- 今後の就労について相談したい
- 現在勤めている職場に関する相談をしたい

- 児童相談所
- 知的障害更生相談所
- 福祉事務所
- 障害児(者)地域療育等支援事業実施施設
- 保健所・保健センター
- 児童発達支援センター
- 障害児入所施設
- 精神保健福祉センター
- 医療機関
- 教育委員会
- 学校
- 特別支援学校
- 専門学校・大学
- 相談支援事業所
- 就労移行支援事業所
- 就労継続事業所
- 生活介護事業所
- その他のサービス事業所
- 公共職業安定所
- 地域障害者職業センター
- 障害者就業・生活支援センター
- 地域若者サポートセンター
- 上記以外の都道府県行政機関
- 上記以外の市町村行政機関
- 企業等
- その他

令和6年度 上川中南部障害者就業・生活支援センターきたのまち 実績報告
登録状況（障害種別、就業状況） (人)

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他の障害	合計
在職中	20	3	292	2	65	44	421
求職中	8	1	25	0	26	11	70
その他	18	2	220	1	78	55	371
合計	46	6	537	3	169	110	862

支援対象障害者に対する相談・支援件数(手段別) (件)

センターへの来所 (本人のほか、家族等も含む)	1,046
電話・Fax・e-mail・オンライン	2,626
職場訪問 (定着支援のほか、職場実習支援を含む)	1,769
家庭・入所施設への訪問	6
その他 (ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援、ケース会議への参加等)	243
合計	5,690

職場実習のあっせん状況 (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
X. 職場実習（3日以上4ヵ月以内）	0	20	9	2	31
A. 地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ雇用前支援	0	0	0	0	0
B. 職場適応訓練（一般、短期）	0	0	0	0	0
C. 障害者委託訓練「実践能力習得訓練コース」、「知識・技能習得訓練コース（職場実習組込型）」等	0	0	0	0	0
D. 精神障害者社会適応訓練	0	0	0	0	0
E. その他（労働局、都道府県又は市町村が独自施策として講じている職場実習制度等）	0	41	7	2	50
合計	0	61	16	4	81

一般事業所への就職件数（※1ヵ月以上の雇用） (件)

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他	合計
一般（30時間以上）	2	(0)	48	(0)	6	5	61
短時間①（20時間以上30時間未満）	1	(0)	14	(0)	7	0	22
短時間②（20時間未満）	1	(0)	0	(0)	1	0	2
合計	4	(0)	62	0	14	5	85

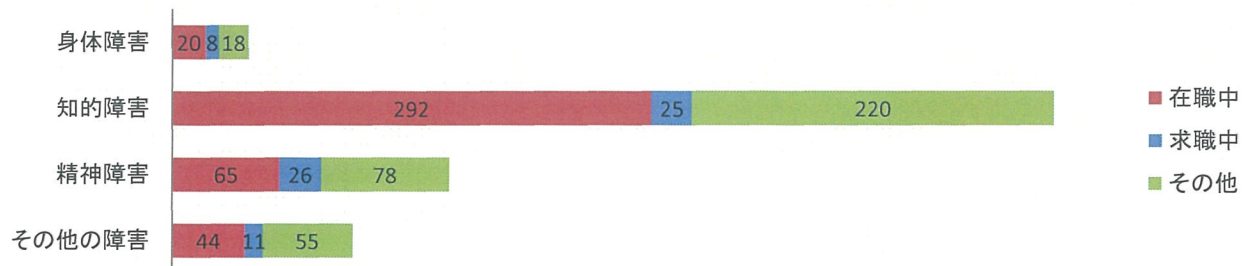
相談・支援を行った事業所数

271 事業所

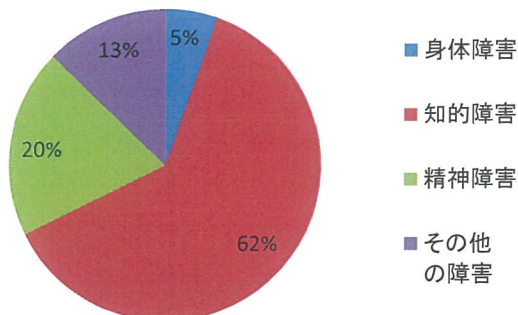
事業主相談・支援件数(手段別)

①センターへの来所	76
②電話 (オンライン、FAX、e-mail等を含む)	687
③企業訪問 (職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む)	1,575
④その他 ※ (ケース会議等を通じた支援)	147
合計	2,485

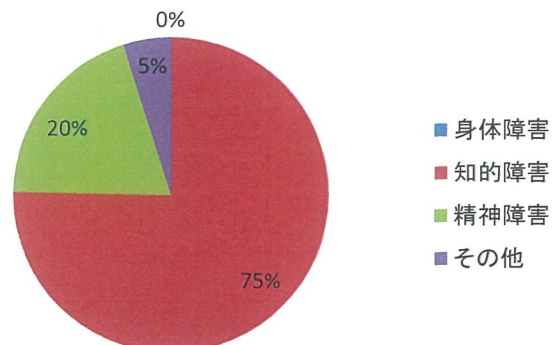
障害種別・就業状況別の支援対象障害者(登録)



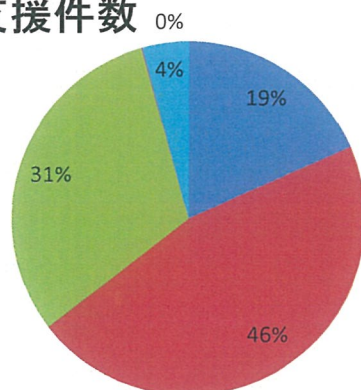
障害種別の登録割合



職場実習あっせん状況

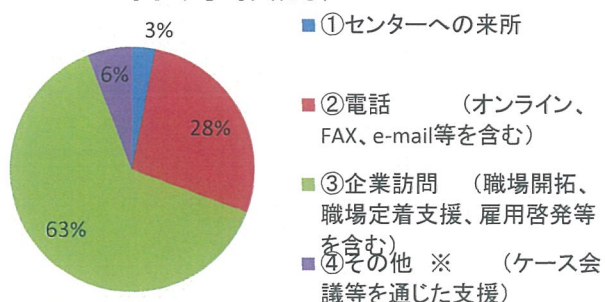


相談・支援件数

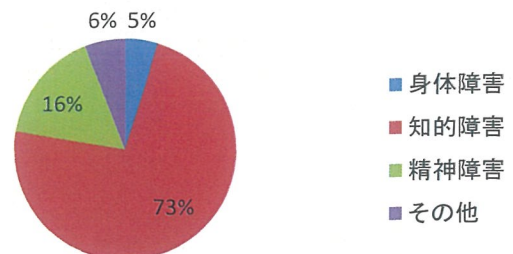


- センターへの来所 (本人のほか、家族等も含む)
- 電話・Fax・e-mail・オンライン (本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む)
- 職場訪問 (定着支援のほか、職場実習支援を含む)
- 家庭・入所施設への訪問
- その他 (ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援、ケース会議への参加等)

一般事業所に対する支援割合(手段別)



一般事業所への就職割合(障害種別)



令和6年度 きたのまち相談支援事業所 実績報告(4～3月)

1. 計画相談実績数 (件)

計画数(者)	(内 新規 13件)	258
計画数(児童)	(内 新規 0件)	5
モニタリング数(者)		670
モニタリング数(児童)		9
合計	(内 新規 13件)	942

2. 地域移行支援 (人) 0人

3. 障害別相談人数(基本相談) (人)

身体障害	知的障害	精神障害	重症心身障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
186	562	453	0	185	3	98	1,487

4. 支援方法(計画相談・地域移行支援・基本相談) (件)

家庭訪問	761
関係機関訪問	1,664
同行	14
電話等相談	7,517
メール	49
担当者会議	120
来所相談	210
記録	153
書類郵送	339
書類提出	1,008
面談	30
その他	12
合計	11,877

令和6年度 きたのまちジョブリハセンター 実績報告

きたのまちジョブリハセンター

○発達障害に基づく支援を行う地域活動支援センター（Ⅲ型）です。

○登録者数 46 名の方の利用登録があり、毎日 10 名ほどの方が利用されています。

○活動：地域活動支援センターでは一人一人にニーズに合わせて本人たちが「地域で自立した自分らしい生活」を意識しながら作業を中心に活動しています。

・生産作業：独自に開発した米粉入り乾燥ラーメンや生ラーメン、生パスタのパッケージや梱包作業を行っています。

・学びと軽運動：講師を招いて月二回のヨガ教室やパソコン教室を実施しています。

また、おびったの体育館を借りてバドミントンやボーリング、卓球など軽運動にも取り組んでいます。

・小行事：令和6年度は、富良野までの列車旅行を実施しました。旭川市から半額補助。

・交流活動：茶話会やクリスマス会、歓迎会や送別会、調理実習などを行いました。

・就労準備講座：配膳実習など全 12 回実施しました。

活動による変化：利用者同士が多く交流を持ったことでお互いに良い刺激になり、就職活動や進学受験勉強、施設通所を始める方も出始めました。

今後も利用者と向き合い本人たちが望む「地域で自立した自分らしい生活」が送れるように支援を行っていきます。

令和6年度 ジョブリハセンターの利用人数

	4月	5月	6月	7月
通所者（市内）	166 人	149 人	146 人	135 人
通所者（市外）	17 人	16 人	16 人	22 人
合計	183 人	165 人	162 人	157 人

	8月	9月	10月	11月
通所者（市内）	156 人	136 人	170 人	157 人
通所者（市外）	26 人	32 人	31 人	30 人
合計	182 人	168 人	201 人	187 人

	12月	1月	2月	3月
通所者（市内）	159 人	166 人	141 人	154 人
通所者（市外）	25 人	23 人	22 人	26 人
合計	184 人	189 人	163 人	180 人

* 合計 2121 人 = 1835 人（市内）、286 人（市外）

以上

〈令和6年度年次報告〉

旭川市障害者就労支援業務実績報告

〈集計期間: 令和6年4月1日～令和7年3月31日〉

令和6年4月～令和7年3月分に係る旭川市障害者就労支援業務の活動状況について、次の通りご報告いたします。

(1) 支援対象障害者に対する相談・支援 就業件数

① 支援対象障害者に対する相談・支援件数 〈手段別〉

相 談 手 段 別	合 計
センターへの来所（本人・家族）	1046
電話・FAX・e-mail（本人・家族）	2626
職場訪問（定着支援・職場実習支援）	1769
家庭・入所施設への訪問	6
その他（ハローワークへの同行・ケース会議）	243
合 計	5690

② 支援対象障害者に対する相談・支援件数 〈内容別〉 (件)

相 談 内 容 別	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
就職に向けた相談・支援	230	1241	1106	506	3582
職場定着に向けた相談・支援	140	955	176	60	1200
日常生活・社会生活に関する相談・支援	34	533	371	216	645
就業と生活の両方にわたる相談・支援	11	88	63	26	263
合 計	415	2817	1716	808	5690

(2) 支援対象障害者に対する 就業件数

① 支援対象者の一般事業所への就業件数

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	合 計
		うち重度		うち重度			
一般就労	2	0	48	0	6	5	61
20～30時間	1	0	14	0	7	0	22
20時間未満	1	0	0	0	1	0	2
合 計	4	0	62	0	14	5	85

令和 6 年度事業報告の附属明細書

令和 6 年度事業報告には、社会福祉法施行規則第 2 条の 2 5 第 3 項に規定する附属明細書、「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。